

理事長にインタビュー

理事長

むら にし きょう いち ろう
村西 京一郎 先生

「歯科医は患者様の健康寿命を長くし、健康に寄与できる仕事。」

北海道帯広市の「医療法人社団恵道会 むらにし歯科クリニック」は、インプラント治療分野で豊富なキャリアを誇る村西京一郎先生が2020年に開院された歯科クリニック。理事長である村西先生は、総合病院での勤務経験があり、様々な症例を経験されておられるベテラン歯科医師です。
今回はそんな村西先生に、気になるインプラントのことやクリニックのことなどについて伺いました。

噛むという行為が失われると脳の機能にも影響を及ぼす

—— まずは最初の質問ですが、村西先生が考えるインプラントの最大のメリットとは何でしょうか？

インプラントは、部分的な歯の欠損の場合だけではなく、全く歯がない場合も対応可能です。

例えば、部分的な欠損の場合、残った歯には噛む力の負荷が多く掛かるため、支えている歯の寿命も短くなると言われていますが、**インプラントにすることで残っている歯の寿命も伸ばすことができます。**

また、全く歯がない場合は、義歯を固定して支える



ことができますので、天然歯のように噛む力を回復することができます。

咀嚼機能は脳の3分の2を使用すると言われ、噛むという行為が失われると脳の機能にも影響を及ぼしてしまいます。

—— “噛める”ということは脳にとっても大切なことなのですね。では実際にインプラントにされた方のお声はいかがでしょうか？

治療が終わった患者様は、食事が楽しくなったと笑顔で喜んでいらっしゃいます。噛むことができると顔面周囲の筋肉も回復すると言われており、笑顔も素敵に見えますね。

また、「食べたいものを選ぶのが楽しい。」「前歯の見た目にストレスを感じていたが、それが無くなり、精神的に楽になった。」などの患者様のお声をいただき、嬉しく感じております。

—— そのようにメリットの多いインプラントですが、やはり「何となく怖い」というイメージを持つ方も多いと思いますが、実際のところどうでしょうか？



怖いというのは、『分からない・知らない』から来る感情だと思います。治療がどういうものか細かく丁寧に説明し、ご納得していただいた上で治療を開始していきますので、治療した患者様からは、早くやってあげれば良かったと話される方もいらっしゃいます。

また歯科治療に恐怖感が強い方には、笑気吸入鎮静法※を併用することもできますので、ご安心下さい。

※鼻から吸うだけでリラックスして治療が受けられ、肺などから体外に排泄される副作用が非常に少ない鎮静法。

骨造成※が必要な症例を多く経験

—— インプラントのことを「よく知らない」ということが「怖い」に繋がるのですね。ところで村西先生は、常に進化するインプラントの技術、知識をどのように習得されておられますか？

毎年学会に参加するようにしています。日本では日本口腔インプラント学会、顎顔面インプラント学会、口腔外科学会などがあり、また、国外でのITIやEAOなどの学会にも参加し、発表をさせていただいております。

その他にも若い先生方に講演を行ったり、ITIのスタディクラブ帯広のディレクターをさせていただいており、年3～4回講師を呼んで講演会や症例検討会などの勉強会を行い、新しい技術や知識の研鑽を積んでいます。

—— 治療をされる上で、患者様とのコミュニケーションはどのように取っていらっしゃいますか？

患者様から、一番困っていることや望んでいることを引き出していけるように心掛けています。

スタッフからも患者様が話していた内容を確認して、患者様の本音をより把握できるよう努めていきたいと考えております。

—— そのように丁寧に聴いていただけると安心してお話し出来そうです！では、村西先生、ずばり！お聞きしますがクリニックの強みはどこでしょうか？

骨造成※が必要な症例を多く経験しているということです。インプラント治療は学生時代から興味がありました。私がインプラント治療を始めた約25年前には病院の歯科口腔外科で治療していましたが、インプラント治療を行うための骨造成※の患者様が多く、そのため様々な骨を作る手術を経験して参りました。ですので、骨が薄く、他院で断られたことのある方でも是非当院にお越しいただけたらと思います。

※顎の骨が薄く、インプラント治療が難しい方に対して、人工的に骨を増やす手術の総称。

—— 骨が薄くて一度断られたことのある方にも希望が持てますね！話は変わりますが…。ご多忙だとは思いますが、休日はどのように過ごされていますか？

学会や勉強会のない場合はクリニックの雑務などをして過ごしています。時間がある時は、趣味程度ですがゴルフやフライフィッシングをしたり、家でたまにギターを弾いて指の体操をしています。

—— それでは最後に一つ伺います。村西先生にとってこの仕事の喜びとは何でしょうか？

インプラント治療を行った患者様が、10年以上経ってもメンテナンスに来ていただいていることに感謝しております。患者様が自分の足で、定期的に受診されることにとても喜びを感じますね。

開業前に歯科口腔外科に勤務しておりましたが、内科の慢性期の入院患者様は自分で歯ブラシができずに口腔衛生状態が悪くなり、食事のままならない方の栄養状態を内科医・看護師・栄養士と共に確認、指導してきました。

自分で動くことができない患者様の中に、歯が揃っている方はほとんどおらず、また過去にインプラント治療を受けている人も見たことがありません。口腔内環境がいかに大切かがわかると思います。

歯科医という仕事は、患者様の健康寿命を長くし健康に寄与できるので、とても嬉しく思います。